

- 改めて、みんなで朝の挨拶をしましょう。桜っ子の皆さん、おはようございます。
- 40日間の長い夏休みが終わりました。桜っ子のみなさんが大きな事故や怪我もなく、元気に今日の始業式を迎えられたこと、みんな笑顔で、またこの体育館に集まったことは、何よりうれしいことです。皆さんはきっと、いろいろな経験や挑戦をして、一回りも二回りも成長したことでしょう。そんな桜っ子の2学期での活躍を今からとても楽しみにしています。先ほど、4年生の _____ さんが、2学期に頑張りたいことについて発表してくれました。堂々として、とても素晴らしい発表でしたね。ぜひ、皆さんも _____ さんのように「これを頑張りたい」という決意をしっかりとって、有意義な2学期にしてほしいと思います。
- さて、今日は、皆さんに一つの言葉を紹介します。その言葉は、先週、桜川小と南桜井小、葛飾中の3校の先生方が全員集まって行われた勉強会で、指導者の方から教えていただいた言葉です。それは、「ウェルビーイング」という言葉です。皆さんのほとんどは聞いたことのない言葉だと思います。それもそのはず。「ウェルビーイング」は英語です。日本語に訳すと、「良い状態、生き生きとして幸せな状態」ということのようにです。校長先生は、桜川小学校がそんな「ウェルビーイングな学校」＝「自分もみんなも幸せな学校」であるといいなど、いつも思っています。
- ところで、「ウェルビーイング」の意味にもある「幸せ」とは、どんな状態を言うと思いますか？私たちはよく「幸せになりたい」とか「幸せな人生を送りたい」と言いますが、そもそも「幸せ」とはなんでしょうか？「偉くなること」、「お金持ちになること」、「美味しいものを食べること」、「旅行すること」などなど・・・「幸せ」の内容は人それぞれです。ただ、多くの人が言う「幸せ」は「いま持っていないものを手に入れること」という点で共通しているように思います。つまり、幸せを「今の自分にはないもの」に求めているのです。できなかったことができるようになった、分からなかったことが分かるようになった、行ったことのない所に行けた、など、とてもうれしい気持ち、幸せな気持ちになりますよね。いま持っていないものを手に入れるために自分を成長させていくことはとても素晴らしいことです。
- 反対に、私たちが「いま持っているもの」はどうでしょうか。「自分が健康であること」、

「家族や友達が周りにいて、みんな元気に仲良く暮らすこと」、「毎日ちゃんと食事ができること」、「自分の好きなことができる時間を持てること」「安全な場所でゆっくりと眠ることができること」・・・どれも、当たり前すぎて、それがあから「幸せ」とはあまり感じないのではないのでしょうか。

- でも、この当たり前とっていたことがある日突然なくなったらどうなるのでしょうか？自分や周りの人が病気になったり、好きなことができなくなったり、安心して眠ることができなかつたり・・・、これまで当たり前だと思っていたものを失うショックは大きいと思います。
- 校長先生は、この夏休みに、13年前の大震災で大津波による被害を受け、使えなくなった小学校やその学校の体育館、原子力発電所などの施設、それ以来足を踏み入れることができなくなって荒れ果てた土地や建物を見る機会がありました。その小学校に通っていた子供たち、その場所に住んでいた人たちは、ある日突然、「当たり前」を奪われ、13年以上経った今も元の生活に戻ることができずにいるのです。
- 皆さんに伝えたいのは、「幸せ」には2つの側面があるということです。1つは「持っていないものを手に入れるために自分を成長させること」、もう1つは「持っているものを持ち続けられることに感謝をして生活すること」。
- 悲しいことに、私たちがいま持っているものは失うときが必ずやってきます。だからこそいま当たり前のものとして持っているものを持ち続けていられることに幸せを感じながら毎日生きていくことは大切です。そう考えれば、日常の何気ない時間がどんなに貴重なものか分かるはずですよ。
- 今日は「ウェルビーイング」「幸せ」について少し難しい話をしましたが、この2学期には運動会や、修学旅行・遠足・社会科見学をはじめとする各学年の校外学習など、皆さんが楽しみにしている行事もたくさんあります。
- ぜひ、当たり前のように毎日生活できていることに「幸せ」を感じるとともに、学校でのさまざまな取り組みを通して自分自身を「成長させる」ことで持っていないものを手に入れ、自分も周りのみんなも幸せな、「ウェルビーイング」な桜川小学校を目指して、ここにいる全員で協力し、頑張っていきましょう。
- お話を終わりにします。